

# アジア太平洋地域の無形文化遺産 コロナ禍を乗り越えた



新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、外出や集会の制限をはじめ、長期にわたって私たちの日常に大きな影響を及ぼしました。人々が担い手となる無形文化遺産も大きなダメージを受けましたが、コロナ禍の困難な状況にあっても実践を続けるための様々な取り組みもあり、変化しながら受け継がれる「生きた文化遺産」としての可能性を示しています。本展示では、アジア太平洋無形文化遺産研究センター（IRCI）がアジア及び太平洋地域9か国で実施した調査の成果を基に、コロナ禍における無形文化遺産の実践について紹介します。

## パネル展

2023 **11.7** TUE - 2024 **3.31** SUN

ICH Resilience amid COVID-19 Pandemic

会場：堺市博物館 文化遺産展示室



### 【関連イベント】第41回無形文化遺産理解セミナー

「コロナ禍のお祭りを考える

—東京都台東区浅草・三社祭を事例として—

日時：12月17日(日)13時30分～15時00分(13時00分開場)

会場：堺市博物館ホール

講師：三隅貴史氏（関西学院大学社会学部特別任用助教）

定員：60名(要申込)

※詳細、申し込み方法はチラシ裏面へ

# コロナ禍のお祭りを考える — 東京都台東区浅草・三社祭を事例として —

日時：12月17日(日)13時30分～15時00分(13時00分開場)

会場：堺市博物館ホール

講師：三隅貴史氏 (関西学院大学社会学部特別任用助教)



©三隅貴史



©三隅貴史

コロナ禍により、「中止」や「神事のみ開催」となった祭りは少なくありません。実際に、民俗学者によるアンケート調査の結果が示したように、約7割の祭りが中止に追い込まれました。その中には、飾り付けた山車や屋台を展示したり、担い手が集まって「練習」をしたり、あるいは倉庫の掃除をしたりした祭りもありました。一方で、「疫病退散」、「新調記念」、「見納め」といった名目を掲げて、祭りを実施したケースもありました。すなわち、これらの事例は、祭りの担い手たちがコロナ禍において何もできなかったのではなく、自分たちのできる範囲で祭りを戦略的に行っていたことを示唆します。本講演では、神輿で有名な東京都台東区浅草の三社祭に焦点を当て、コロナ禍の祭りの様子を紹介し、コロナ収束後に祭りがどのように受け継がれていくかについて検討します。

## 《定員・お申し込み方法》

定員：60名(申込先着順、参加無料、展示の観覧は別途観覧料が必要)

12月1日(金)10時00分から受付開始。

電子申請システム又は、電話でお申し込みください。

堺市博物館 無形セミナー係 TEL.072 (245) 6201



電子申請システム

独立行政法人国立文化財機構  
アジア太平洋無形文化遺産研究センター  
International Research Centre for Intangible Cultural Heritage in the Asia-Pacific Region (IRCI)  
〒590-0802 大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁  
堺市博物館内  
TEL.072 (275) 8050 FAX.072 (275) 8151  
https://www.irci.jp/jp

## 堺市博物館

SAKAI CITY MUSEUM

〒590-0802 大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁  
大仙公園内  
TEL.072 (245) 6201 FAX.072 (245) 6263  
https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan/  
https://www.facebook.com/sakaishihaku/

- 開館時間 9時30分～17時15分(入館は16時30分まで)
- 休館日 月曜日(祝日は開館)、12/28～1/4
- 観覧料 一般200円  
高校・大学生100円  
小・中学生50円

但し、特別展会期中および展示替期間中(11/7～1/5)は一般100円、高校・大学生50円、小・中学生20円。特別展観覧の場合は別料金。

※堺市内在住・在学の小・中学生は無料  
※堺市在住の65歳以上の方、障害のある方は無料(要証明書)



### ◆交通案内

- 電車 JR阪和線「百舌鳥」駅下車約500m
- バス 南海高野線「堺東」駅から南海バス(140系統で約10分)、バス停「堺市博物館前」下車約280m
- 駐車場 大仙公園第3駐車場(仁徳天皇陵古墳東南・有料)

